

歴史は夜作られる

HISTORY IS MADE AT NIGHT

★スタッフ★

原作・脚色……………ジーン・タウン
……………グレーム・ベーカー
監督……………フランク・ボゼージ
撮影……………グレッグ・トーランド
音楽……………アルフレッド・ニューマン

★キャスト★

ポール・デュモン……………シャルル・ボワイエ
アイリーン……………ジーン・アーサー
料理長セザール……………レオ・カリエ
ベイル……………コリン・クライブ
上映時間 1時間37分

■提供インターナショナル・プロモーション



「カサブランカ」モロツコと似て、その追憶を今に
この目で見て抱きしめたくなる作品
見事な映画ラヴ・エクスタシー。〈淀川長治さん〉



《解説・ストーリー》

世界海難史上未曾有の惨事といわれている豪華客船タイタニック号の遭難沈没にヒントを得たこの映画は、難破のパニック・スペクタクルと、素晴らしい愛のメロディーに彩られたロマンティックな傑作である。

■「ラ・クンパルシータ」の名曲が流れる中では：

パリの名高い給仕長ポール・デュモン（シャルル・ボワイエ）とアイリーン（ジーン・アーサー）は出会い、ダンスが二人を愛のリングで結んだ。カフエ「青い城」でのポールとアイリーンのタンゴは、映画史上に残る名ダンス・シーン。時が流れ、リズムがいかにワイバーしようとも、ダンスは男と女の愛の陶酔を華麗に表現してみせる。

《アイリーンは、海運王の夫ベイルの非常識な愛撫と嫉妬に堪えられず、離婚訴訟を起した。その結果、六カ月の猶予期間中にアイリーン側に不謹慎な行為が立証されない限り正式に離婚が認められることとなった。この点に目をつけたベイルは、妻の部屋に運転手のマイケルを侵入させ、そこを姦通の現場としてとりおさえ、離婚を無効にしようとした。そのアイリーンの窮地を救ったのがポールだった。》

■ポールとアイリーンの愛の逃避行を縦糸に：

《ベイルは失敗した計画を変更、運転手を殺し、その罪をポールに被せようとした。翌朝、ホテルに帰ったアイリーンは警察の出入りする騒ぎを見て、ポールがマイケルを殺したと思ひ込んでしまう。それを見たベイルはアメリカに帰ることを条件にアイリーンに取り引きを迫った。一度だけのダンスで、ポールを愛するようになったアイリーンは、彼の命を救う為、夫の条件のみ、パリを後にした。既にアイリーンに夢中になっていたポールはそれを知り、早速彼女を追ってニューヨークへ向った。》

■豪華客船、沈没の大パニックを横糸に：運命のクライマックス！

《パリでは先の殺人事件の被疑者が公判に附されることになり、そのニュースがニューヨークにも伝えられた。だが、その直後、ポールとアイリーンは再会した。ポールが被告ではなかったのだ！二人は再び、無実の者を救う為船に乗りパリへ…これを聞いたベイルは嫉妬に狂い、濃霧を承知でその中を全速力で航海せよと、オーナーとして船に打電した。そして、遂に船は氷山に衝突、乗客はパニックに陥り、ポールとアイリーンもその混乱の渦に…》

■ラブ・エクスタシーを壮麗に織りなした スタッフ・キャスト！

名給仕長ポールに、惜しくも78年8月26日、この世を去ったシャルル・ボワイエが、アイリーンにはきらめく金髪が忘れられないジーン・アーサーがそれぞれ扮し、甘い恋のデュエットを奏でてくれる。監督は、「第七天国」「パッド・ガール」でオスカーを受賞、ハイ・テンポの中にゆったりと愛を見せるベテランのフランク・ボゼージ。撮影は、大胆なカメラワークに繊細なムードをかもし出す名手グレッグ・トーランド（「駅馬車」「市民ケーン」）。音楽は、後にオスカー9回受賞という記録をうちたてたアルフレッド・ニューマン（「慕情」「キャメロット」）が担当している。

★きらめくスター、華麗なる名作！
「ある夜の出来事」「歴史は夜作られる」

近日一挙
ロードショー！

日劇文化 (201) 2111

国電有楽町/地下鉄銀座駅下車

1000円のお得な特別鑑賞券好評前売中(劇場・プレイガイド)